

第3号様式（第7条関係）

平成27年11月27日

開成町議会議長 茅沼隆文様

開成町議会議員 山田貴弘 ㊟
(代表)

派遣成果報告書

派遣の区分	<input type="checkbox"/> 委員会派遣（_____委員会） <input checked="" type="checkbox"/> 議員（複数） <input type="checkbox"/> 議員（単独）
目的 (調査事項又は 研修項目)	「市町村議会議員特別セミナー」 ～災害に強い地域づくり～
目的地	名称等：市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 住所：千葉県美浜区浜田1-1
期日（期間）	平成27年10月26日（～平成27年10月27日）
視察又は 研修の成果	別紙のとおり

市町村議会議員特別セミナー出席者名簿

役 職	議員名	所属政党	備考
議 員	山 田 貴 弘	無所属	代表
議 員	前 田 せ つ よ	公明党	
議 員	下 山 千 津 子	無所属	
議 員	井 上 三 史	無所属	
議 員	星 野 洋 一	無所属	

市町村議会議員特別セミナー ～災害に強い地域づくり～

* 開催日 平成27年10月27日(木)

平成27年10月28日(金)

* 場所 市町村職員中央研修所

【市町村アカデミー】

(千葉県美浜区浜田1-1)

	科目	講師
10/27 (木)	①日本の火山活動と防災	小山 真人 氏 (静岡大学防災総合センター教授・副センター長)
	②災害時の要援護者支援	鍵屋 一 氏 (跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授)
10/28 (金)	③災害時の議会の役割	江藤 俊昭 氏 (山梨学院大学法学部教授)
	④東日本大震災 被災地・南相馬市議会の経験とこれからの防災対策	平田 武 氏 (南相馬市市議会議長)

平成27年度市町村アカデミー特別セミナー 派遣成果報告書（別紙）

山田 貴弘 議員

所感等

災害に強い地域づくりをテーマに、4つの講演のうち、日本の火山活動と防災を聞き知識レベルを上げることができた。

この度の、特別セミナーを受講した目的は、私たちの近隣で起きている箱根山の火山活動（レベル3・現在は、レベル2）の危機意識を持続させる。また、日本の活火山が110あるうち、47の山が、常時観測火山に指定されており富士山・箱根山が該当する。

富士山が噴火したら県西地域は、甚大な被害をもたらすため過去の歴史に学び想定する。

富士山火山広域避難計画（対策編）について、広域避難における避難者受入れの考え方や手順を明確化。広域避難の軸となる広域避難路を指定。レベル1（平常）において、火山活動が活発化の傾向を示しているときに情報収集体制をとる。避難対策で必要な項目ごとに対応事項表を作成。

16日間降り続けた1707年の富士山宝永噴火の降灰分布図は、火山灰の厚さ16cmと示している。被害の関係では、10cmで土石流が発生する。

噴火後、1708年8月・1711年9月・1731年6月、8月に足柄平野を襲った洪水被害を重ね、減災対策を図るとともに、流域市町と連携した総合ハザードマップ及び総合行動計画の在り方を、早急に作成する必要がある。

前田 せつよ 議員

所感等

「災害に強い地域づくり」について2日間に渡って4項目の市町村議会議員特別セミナーを受けました。

①「日本の火山活動と防災」講師 静岡大学防災総合センター教授・副センター長、教育学部教授 小山真人氏は、対策先進例としての富士山について、日本の先端となるものとして、「最近1万年間の富士山噴火史」のデータを元に講演がされました。特に、2900年前に起きた富士山の山体崩壊は興味深いものでした。これから作られるハザードマップは、山体崩壊を想定して作ろう！となっているそうです。

②「災害時の要援護者支援」講師 跡見学園女子大学観光コミュニティデザイン学科教授 鍵屋一氏は、阪神淡路大震災、3.11 東日本東日本大震災の痛ましい事例を交えながら掘り下げた支援のあり方が示されていました。要援護者こそ、優れた「こころ」支援者になることから、こころの支援は、地域（近所）の大きな役割である

ことや、その基礎を司る公助は、公平な組織体の整備の重要性も細部に渡って語られていました。

③④の2つの項目では、「災害時の議会の役割について」講演がされました。「緊急時における議会のあり方検討会」を持ち平時と災害時を繋ぐ議会として、先進自治体の事例から具体的に検討すべき事柄が見え大変に有意義なものでした。

下山 千津子 議員

所感等

箱根町大涌谷の噴火や富士山の噴火も心配されている中で、タイムリーな講演である「災害に強い地域づくり」に参加した。全国から148人（男性119人、女性29人）の参加者があり「日本の火山活動と防災」をテーマに火山の噴火と加害現象、対策先進例としての富士山等、パワーポイントで詳細な説明があり、日本には110個の活火山があり、常時観測火山は47個であること、火山監視情報センターは4か所（札幌、仙台、気象庁、福岡）にあること、そして一番の関心事である富士山の話は、生い立ちから1707年の宝永噴火の話や、防災対応の現状、広域避難計画、ハザードマップの有効性の検証実験等の内容であった。「災害時の要支援者支援」では東日本大震災を事例に防災の正四面体（自助、近所、共助、公助）体制の構築が必要性である事。災害時の議会の役割では、住民自治の根幹としての役割を学んだ。訓練なくして効果的な対応は出来ない、実践訓練が大事。研修の成果をより良い実施に活かして行きたい。

井上 三史 議員

所感等

セミナーは「災害に強い地域づくり」をテーマに4本の講演があった。

講演①「日本の火山活動と防災」講師：静岡大学防災総合センター副センター長兼教育学部教授 小山 真人 氏。講演②「災害時の要援護者支援」講師：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授 鍵屋 一 氏。講演③「災害時の議会の役割」講師：山梨学院大学法学部教授・大学院研究科長・博士 江藤 俊昭 氏。講演④「東日本大震災被災地・南相馬市議会の経験とこれからの防災対策」講師：福島県南相馬市議会議長 平田 武 氏の4本である。二日間で学んだことを箇条書きします。

- ・防災減災計画の中に、災害に見舞われたらどんな支援が欲しいのか、逆に災害が起きたところにどんな支援ができるのか明確にしておくことが大事である。
- ・災害が起きる前に起きたときの準備を決めておくこと。
- ・地域防災ではいかに自助を鍛えておくことが重要である。

- ・災害後の復興計画について議会として責任を持つことが大事である。
- ・実践的訓練なくして効果的な対応はできない。 以上です。

星野 洋一 議員

所感等

『災害に強い地域づくり』をテーマに行なわれた市町村議会特別セミナーは、小山真人氏「日本の火山活動と防災」、鍵屋一氏「災害時の要援護者支援」、江藤俊昭氏「災害時の議会の役割」、平田武氏「東日本大震災被災地・南相馬市議会の経験とこれからの防災対策」が講演された。

小山真人氏の講演は富士山の噴火活動を数多くのデータを使い解説しており、富士山の影響下にある開成町は、降灰堆積深が 30 cm の地域になる地域であり防災の対策を考えさせられる講演であった。

鍵屋一氏は東日本大震災での災害状況を調査し、高齢者、障がい者等の災害時の要援護者の支援体制をどの様にするかを話されている。災害には自助・共助・公助で助け合うが、特に「ご近所力」は地域防災の相当部をカバーできる大切なものであると述べている。開成町においては、自治会に入っていないアパートの住民の方の防災のあり方ももっと考えるべきと思われる。

江藤俊昭氏は災害時における議会の対応について、平田武氏は東日本大震災時における原子力発電所に対する特別な状況下における議会の対応等貴重な講演であった。